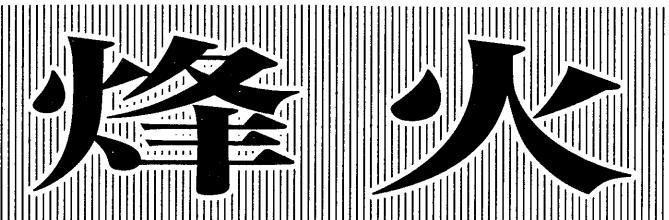


国際帝国主義の侵略反革命・第三世界支配を粉碎し、全世界の帝国主義を打倒せよ！世界プロレタリア革命—世界プロレタリア独裁—共産主義を実現する新しいインターナショナル(世界単一党)を国際階級闘争の最前線に創建せよ！

 3月政治アピールP2~4 国際反戦運動の歴史的高揚と結合し、イラク侵略戦争阻止する総決起を 2・15闘争報告P6~7	2003年 3月1日 第572号 編集発行人 海路 薫 一部 300円		共産主義者同盟（全国委員会） ■ 大阪戦旗社 大阪市北区本庄西2-8-19 明豊ビル401号 大労協内 TEL(06)6371-3706 ○郵便振替 00930-0-63333 ○銀行口座 第一勧銀 551-1058150
---	---	---	---

**国際反戦運動と結合した人民の総決起を！
侵略戦争擁護する日帝・小泉政権を許すな！**

イラク侵略戦争阻止

3・15世界同時行動に決起せよ

イギリス・ロンドンでは200万人が反戦行動に立ちあがった(2月15日)

すべての労働者人民の皆さん！米帝・英帝によるイラク侵略戦争の発動を阻止できるか否か、決定的な攻防のときが来た。この数週間のたたかいが、これを決するのだ。戦争がはじまる前に戦争をとめようと、いま全世界で何百万、何千万の人民がたたかい続いている。この歴史的なたたかいの一翼を担おう。圧倒的に孤立しているのは、米帝・ブッシュ政権であり、英帝・ブレア政権である。

そのようななかで、日本帝国主義は米帝・英帝を全面的に支持し、イラク侵略戦争を擁護していくとしている。小泉政権は、二月一五日の世界で一千万人が参加した反戦行動に対し「イラクに誤ったメッセージを伝えるものだ」と罵倒した。われわれは、このような小泉政権を絶対に許すことはできない。日本においても、労働者人民の八〇%がイラク攻撃に反対している。打倒されねばならないのは、フセイン政権ではなくブッシュ政権・ブレア政権であり、小泉政権なのだ。

すべての同志たち！そして、すべてのたたかう友人たち！アメリカのインターナショナルANSWERは、三月一五日にホワイトハウスを包囲する大反戦行動を呼びかけ、この日は今年にはいって三度目の世界同時行動になろうとしている。三月一五日、全世界の労働者人民とともに総決起しよう。あらゆる犠牲を恐れず、万難を排してたたかいの最先頭に立とう。反帝国主義の旗を高く掲げよう。

日本においては、倒産・失業やリストラ解雇の嵐が吹き荒れ、多くの労働者が生存権すら脅かされる事態に直面している。そのようななかで、小泉政権はあるうことか解雇ルールの法制化を焦点にした労働法制の改悪を推進し、社会保障の切り捨てを次々と行おうとしている。そのようななかにおいても、小泉政権はイラク侵略戦争のために何兆円もの戦費を負担しようとしているのだ。雇用破壊・生活破壊に反対するたたかいとイラク侵略戦争に反対するたたかいをしっかりと結合させ、七〇〇〇万労働者のなかから総決起をつくりだしていこう。

残されている時間はわずかである。全世界の労働者人民とともに、イラク侵略戦争を阻止しよう。第二次朝鮮戦争策動を粉碎し、有事法制を廃案に追い込もう。総力をあげて街頭へ。

有事法制粉碎

☆三月政治アピール

国際反戦運動の歴史的な高揚と結合し イラク侵略戦争を阻止する総決起を

たたかうすべての労働者人民の皆さん！米帝・英帝を中心としたイラク侵略戦争を阻止できるか否か、攻防は決定的な局面を迎えてる。世界的に高揚する国際反戦運動と結合し、イラク侵略戦争を阻止するために総決起しよう。

国際反戦運動の歴史的な高揚

一月末にもイラク侵略戦争を発動しようとしていた米帝・ブッシュ政権は、二月末日現在においても、なお戦争を発動できていない。そればかりか、なんとしても戦争に突き進もうとするブッシュ政権はますます国際的に孤立しつつある。ここまでブッシュ政権を追いつめてきたものこそ、今年に入って世界的にすさまじい勢いで高揚してきた国際反戦運動であった。

アメリカの反戦団体、インターナショナルANSWERの呼びかけによって行われた一月一日の世界同時行動には、世界三十カ国以上で数百万人が立ちあがった。時差の関係で日本から開始されたこの日の世界同時行動は、アジアから中東、ヨーロッパ、アフリカへとつながっていき、アメリカでの巨大な反戦行動によつてしまくられた。その中心となつたアメリカでは、ワシントンで五〇万人、サンフランシスコで二〇万人というベトナム戦争時をも上回る巨大な反戦デモが行われた。

そして、二月十五日のヨーロッパの反戦運動が呼びかけた次の世界同時行動には、実に世界六〇カ国以上で一千万人を超える労働者人民が反戦行動に決起した。アメリカとともにイラク侵略戦争の中心となつてゐるイギリスの首都ロンドンでは、二〇〇万人が反戦行動に立ち上がり、ブレア政権を追いつめた。この日は、フランスのパリやイタリアのローマでも百万人規模の反戦集会が開催され、ヨーロッパ諸国は反戦運動の波におおいつくされた。アメリカにおいてもニューヨークの国連本部前において二〇万人が反戦行動をおこない、またいくつもの第三世界諸国でも反戦行動が取り組まれた。戦争がはじまる前に戦争をとめようと、いま世界で何百万、何千万もの労働者人民が奮闘をつづけてゐる。そして、人民のたたかいによつて実際に

戦争を阻止することができる可能性が切りひらかれてきているのだ。国際階級闘争は、劇的な形で明らかに次の高揚期に向かい始めた。

この一挙的な労働者人民のたたかいの高揚は、次のような特徴をもつものである。その第一は、このたたかいの高揚が、九〇年代から開始された反グローバリゼーション運動と国際反戦運動が結合することによって生みだされたものであり、最初から国際的に結合した運動として組織されてきることにある。アメリカのシ

第三には、このような国際反戦運動において、

アトルで開催されたWTO閣僚会議が数万人の人民に包囲され、破綻したのは一九九九年のことであった。欧米諸国では、九〇年代からの反グローバリゼーション運動を通して、資本主義・帝国主義がもたらす犠牲に反抗する労働者人民のたたかいが高揚していき、「新たな社会」への希望が人民の中に浸透してきた。この過程を通して、各国の人民のさまざまな大衆組織が成長し、力をたくわえていった。アメリカのインターナショナルANSWERの中心団体であるIAC（インターナショナル・アクションセンター）もまた、この時期に影響力を大きく拡大してきた組織である。二月十五日の世界同時行動もまた、昨年一二月の世界社会フォーラムによる世界各団体の反グローバリゼーション運動が結集した機会に決定されたものであった。こうして世界的に高揚してきた反グローバリゼーション運動の基盤の上に成立した現在の国際反戦運動が、その最初から世界的に結合したものとして組織されてきたことは決して偶然ではないのである。

第一には、この国際反戦運動のなかにおいて、

歐米の帝国主義本国における労働者人民のたたかいが長期にわたる沈滞期を打ち破り、新たな高揚期に向かい始めてゐることにある。帝国主

義本国では、一九六〇年代末の階級闘争の高揚期が過ぎ去つて以降、帝国主義労働運動による労働運動支配を基礎に、階級闘争は長らく沈滞してきた。しかし、帝国主義的グローバリゼーションと新自由主義政策の推進は、これらの帝国主義本国においても階級矛盾を激化させ、労働者人民のたたかいの活性化を生みだしてきた。そして、この間の反戦運動においても、アメリカでは約二百万人の構成員を擁する「合衆国反戦労働者」という労働組合・労働団体の全国組織が結成され、労働運動が反戦運動の重要な一角をしめるようになってきている。帝国主義本邦の階級闘争の状況は、日本は未だ圧倒的に立ち遅れているにせよ、世界的には急速に変貌しつつある。

第三には、このように国際反戦運動において、第三世界だけではなく帝国主義本国の反戦運動においても、反帝國主義勢力が重要な役割をはたし、各国において社会主義・共産主義勢力が台頭してきていることにある。現在の世界的な反戦運動は、それぞれの国によって主導している勢力が異なつており、われわれもまたこれを詳細に把握できているわけではない。しかし、アメリカにおける巨大な反戦運動を牽引してきたインターナショナルANSWER、鮮明な反帝國主義・国際主義の立場に立つ団体であることは明らかである。インターナショナルANSWERは、米帝によるグローバリゼーションの推進と侵略戦争を反帝國主義の立場から厳しく批判し、米帝によって抑圧・支配されている全世界の人民の解放闘争に連帯するという立場を公然と表明してきた。このようなANSWERが呼びかける反戦行動に、全米で百万人にも達する労働者人民が立ちあがってきたのである。そして、アメリカの社会主義勢力・共産主義勢力がこのANSWERのたたかいを全力で推進することによって、広範な労働者人民から新たな信頼をかちえできている。

以上から明らかなように、現在の国際反戦運動の世界的な高揚は、決して一過性のものではない。この国際反戦運動の世界的なうねりをさらに推進し、まさに人民の力によって米帝のイラク侵略戦争を阻止しなければならない。そし

て、この開始された新たな高揚局面を次の段階に押しあげていくために、全世界の共産主義者、先進的労働者人民は共同の努力をおこなっていかねばならない。そのための課題は次の三つにある。

第一には、高揚する国際反戦運動を反帝国主義を掲げたたかいにおしあげ、帝国主義とたかう国際共同闘争をさらに大きく発展させていくことにある。グローバリゼーションによる人民の犠牲と苦悩、そしてイラク侵略戦争はじめとした戦争は、帝国主義によつたらされたものである。帝国主義を全世界において打倒しないかぎり、この地上から帝国主義による戦争を根絶することはできないし、グローバリゼーションのもとでますます過酷となる人民の飢えと貧困、耐え難いまでの苦悩を根絶していくことはできない。イラク侵略戦争を阻止するたたかいは、帝国主義を全世界において打倒するためのたたかいにまでおしあげられていかねばならない。イラク侵略戦争に反対する反戦運動のただなかにおいて、公然と反帝国主義の旗を掲げよう。帝国主義とたかうアジア・全世界の労働者人民の連帯と国際共同闘争を全力で

倒したいかぎり、この地上から帝国主義による戦争を根絶することはできないし、グローバリゼーションのもとでますます過酷となる人民の飢えと貧困、耐え難いまでの苦悩を根絶していくことはできない。イラク侵略戦争を阻止するたたかいは、帝国主義を全世界において打倒するためのたたかいにまでおしあげられていかねばならない。イラク侵略戦争に反対する反戦運動のただなかにおいて、公然と反帝国主義の旗を掲げよう。帝国主義とたかうアジア・全世界の労働者人民の連帯と国際共同闘争を全力で

第三には、たたかいに立ち上がる労働者人民がめざすべき新たな世界とは、社会主義・共産主義であることを公然と訴え、社会主義・共産主義を人民の解放の希望として再生させていくことにある。

第三には、たたかいに立ち上がる労働者人民がめざすべき新たな世界とは、社会主義・共産主義であることを公然と訴え、社会主義・共産主義を人民の解放の希望として再生させていくことにある。

第一には、世界的に高揚する国際反戦運動を自国の反人民的政府、とりわけイラク侵略戦争を推進する帝国主義本国の政府・権力の打倒に向けたたたかいに転化していくことである。欧米諸国においては、すでに労働者の反戦ストライキ、大学でのストライキ、街頭での警察・軍隊との実力闘争が部分的にではあれ開始されてきている。われわれは、このようたたかいに着目し、帝国主義本国における反戦運動が自国政府の打倒に向けた闘争へと発展していくことに連帯していく。そして何よりも日本において、イラク侵略戦争に反対するたたかいの先頭に立ち、より広範な労働者人民を反戦運動に立ちあがらせていくために奮闘しつつ、このたたかいのなかから日本帝国主義の打倒に向けた闘争を力強くつくりだしていかねばならない。

しかし、この帝国主義諸国内の利害対立をこれほどまでに顕在化させ、仏帝・英帝をして新安保理決議に反対させてきた最大の要因は、世界的な反戦運動の高揚である。とりわけ自国の労働者人民の圧倒的多数がイラク侵略戦争に反対し、百万人の規模で反戦運動に立ち上がってきたことこそ、フランスやドイツの政府がイラク侵略戦争に賛同することを困難にしてきたのである。二月一八日と一九日の両日、安保理は理事国以外の諸国にも発言の機会を与える公開討論会をおこなったが、発言をおこなった六二カ国・機構のうち、米帝・英帝を中心とした戦争の発動を支持する態度を明確にしたのは、日本、オーストラリアなど約十カ国にとどまった。国際的に見れば、米帝は圧倒的に孤立しているのだ。



大阪でも1500人が反戦デモ（2月15日）

イラク侵略戦争に突き進む米帝

米帝・ブッシュ政権は、ついに二月一四日、国連安保理にイラクへの武力行使の容認を意味する新たな決議案を提出した。そして、三月七日の国連監視検査委員会・ブリクス委員長のイラク検査報告の後、ただちに新安保理決議の採択を行うことを要求している。そして、米帝・英帝はすでにイラク周辺に二〇万人を超える兵力を集結させ、いつでも戦争を発動できる体制をととのえてきている。

米帝のイラク侵略戦争の目的は、①帝国主義に反抗してきたイラクのフセイン政権を打倒し、中東における霸権を確立していくこと、②原油埋蔵量世界第二位と言われるイラクの原油利権

を確保すること、③この侵略戦争を通して、軍需産業を中心にして、後退し続けるアメリカの景気を回復させていくことにある。米帝・ブッシュ政権は、このような目的のために、主権国家であるイラクを軍事制圧し、親米政権を擁立していこうとしている。それは、昨年のアフガニスタン侵略戦争から開始された「対テロ」戦争という名の侵略戦争の一環であり、米帝を中心とした帝国主義の世界支配を防衛するための帝国主義戦争そのものなのである。このような反動的な戦争のために、イラクの何十万、何百万の人々が殺され、傷つけられていこうとしているのだ。

このイラク侵略戦争をめぐって帝国主義諸国は、三月中旬にも戦争の発動を強行しようとする米帝・英帝を中心とした諸国と、国連によるイラクへの検査の継続とそれによるフセイン政権の武装解除を要求する仏帝・独帝を中心とした諸国に分裂し、対立と抗争を深めてきた。仏帝・独帝は、現在の段階でも武力行使を容認する新たな安保理決議には反対するという態度を取り、検査の継続によるイラクの「平和的な武装解除」を要求する覚書をロシアとともに安保理に提出している。しかし、そのことは決して仏帝や独帝が戦争に反対する「平和主義者」になつたことを意味しているのではない。これら諸国は湾岸戦争以降、米帝・英帝とフセイン政権が厳しい対立関係にあるすきまをねらって、

国連安保理で新決議が採択されるためには、五理事国の中うち九カ国以上が賛成し、常任理事国五カ国（米・英・仏・ロシア・中国）がいずれも拒否権行使しないことが必要となる。しかし、現在の段階で新安保理決議に賛成する態度を示しているのは、米英以外ではスペイン・ブルガリアの二国だけである（日本は現在理事国ではない）。米帝・英帝は、新安保理決議の採択に向けてすさまじい圧力を安保理諸国にかけ、また常任理事国であるフランスやロシアが拒否権行使しないようにはたらきかけていた。新安保理決議が成立するかどうかは予断を許さない。しかし、米帝・英帝は新安保理決議が成立しなくとも、すでに昨年一月の安保理決議一四四一によって武力行使は認められているという解釈にもとづき、単独でイラク侵略戦争を発動すると言明している。まさにこのよう

推進しよう。



全世界で1000万人が立ちあがった（2月15日）

争の発動を阻止することができるは、世界的な労働者人民のたたかいだけである。すでにいくつもの国から、イラク攻撃を阻止するための「人間の盾」になろうとして多くの人々がイラクに登場している。

クに入っている。国際反戦運動を断固として推進し、戦争がはじまる前に戦争を阻止するためには決起していかねばならない。

先進的労働者人民の緊急の任務

この三月における労働者人民の任務はあまりにも明確である。いまイラク侵略戦争をめぐって、米帝・英帝と全世界の労働者人民のたたかがまさにがっちりと対峙している。労働者人民のたたかいが世界の情勢を規定し、戦争に突き進もうとする米帝・英帝の前に立ちはだかっている。この数十年ぶりに訪れた歴史的な情勢のもとで、すべての先進的労働者人民は、次の任務のもとに総決起していく。

その第一は、国際反戦運動の歴史的な高揚をさらに推進し、これと結合したものとして日本においてイラク侵略戦争に反対する全人民の決起をつくりだしていくことにある。アメリカのインターナショナルANSWERは、三月一五日にホワイトハウス前にアメリカ全土から結集し、大反戦行動に立ち上がるなどを呼びかけている。そして、世界各国において、このアメリカでの大反戦行動に連携し、イラク攻撃を阻止するための世界同時行動に立ちあがることを訴えている。この三月一五日のたたかいを今年三度目の世界同時行動として成功させ、イラク侵略戦争を労働者人民の力で阻止しよう。

そして日本において、このANSWERの呼びかけに応えた全人民の総決起を組織するため奮闘しなければならない。あらゆる犠牲を恐れず、万難を排して労働者人民がたたかいに立ちあがらねばならないときがある。三月一五日のたたかいは、まさにそのようなたたかいである。日本における反戦運動は、帝国主義諸国のかなにおいて今や例外とも言うべき立ち遅れた現状にある。この現状を突破するために、一人ひとりの先進的労働者人民が、もてる力のすべてをふりしぼって広範な労働者人民にはたらきかけ、たたかいいにいざなつていかねばならない。そして、このイラク侵略戦争に反対する全人民政治闘争の先頭にたち、反帝国主義・国際主義の立場からたたかいを領導しなければならない。アメリカのインターナショナルANSWERがそうであるよう、反帝国主義の旗を公然とかげよう。とりわけ日本帝国主義・小泉政権は、米帝・英帝によるイラク侵略戦争を公然と擁護するという犯罪的な役割をはたし、あらゆる手段をもってイラク侵略戦争に協力していく。二月一八日の国連安理会公開討論において、日本の国連大使の原口はイラクに対する国連査察の早期打ち切りを要求し、武力行使を容認する新たな安保理決議を支持するという

態度を表明した。さらに小泉政権は安保理での新決議の採択の前に、イラクに対する武力行使を支持するという政府の態度を公式に表明しようとしている。まさに世界的に孤立する米帝に救いの手をさしていこうとしているのだ。しかし、世論調査によてもイラク攻撃に反対するという声は日本においても七八%に達しており、賛成は一七%にすぎない(二月二五日・朝日新聞)。小泉政権が日本の労働者人民の意見を代表していないことは明らかである。このような小泉政権を満身の怒りをこめて彈劾し、イラク侵略戦争に反対する全人民政治闘争の中から、日本帝国主義の打倒にむけた断固たるたたかいを組織していかねばならない。

第一には、このイラク侵略戦争を阻止するためのたたかいと第二次朝鮮戦争を阻止するためのたたかいをしっかりと結合させていくことにある。米帝・ブッシュ政権は、イラク侵略戦争の準備と平行して、朝鮮民主主義人民共和国への軍事的包囲を強化し、第二次朝鮮戦争の準備に向かっている。そして、すでに東アジアでの米軍の戦略配置の再編成を開始し、日米軍事同盟と沖縄の米軍基地機能の強化を中心にして、朝鮮民主主義人民共和国への軍事的圧力を強めている。そもそも米帝の「対テロ」戦争は、アフガニスタン・イラクへの侵略戦争で終わる性格のものではない。米帝は、イラク侵略戦争の次には残る「悪の枢軸」である朝鮮民主主義人民共和国(以下、共和国と略す)やイランとの戦争の発動に向かおうとしているのだ。

朝鮮半島をめぐる情勢は、急速に緊迫してきている。米帝・ブッシュ政権は、共和国がNPT(核拡散防止条約)からの脱退を表明し、一九七四年の米朝合意によって封印されていた核関連施設の再稼動にふみきったことをとらえて、共和国に対する戦争準備を一挙に強めている。しかし、そもそもNPT体制とは、アメリカ、イギリス、フランス、ロシア、中国の五大国による核兵器の独占を保障するためのものであり、核兵器の廃絶とはまったく結びつかないものである。そして、米帝こそが最大の核兵器保有国であり、現在では核兵器による先制攻撃すら公言し、共和国を核兵器によつてでも壊滅できる態勢をしきつめてきたのだ。米帝に共和国のNPTからの脱退を非難する資格など一切ない。まして、共和国が何度もNPTは脱退するが、核関連施設の再稼動は電力

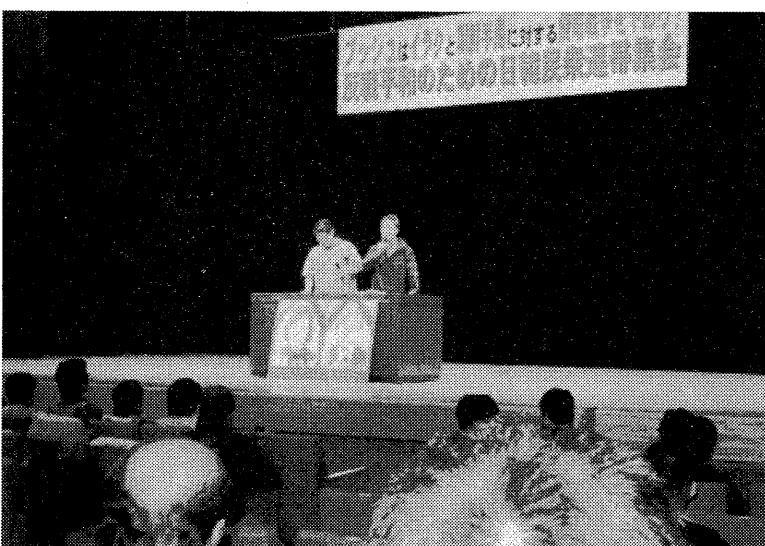
供給のためのものであり、核兵器を保持するつもりはない」とことを表明してきたにもかかわらず、米帝はよりもしない共和国の脅威なるものを煽りたて、第二次朝鮮戦争の準備を正当化している。日本帝国主義もまた、拉致問題や共和国の核開発問題、さらに二月二四日のミサイル発射実験をとらえてすさまじい排外主義煽動をおこなう。第二次朝鮮戦争に備えて日米軍事同盟をさらに強化していくという立場から、イラク侵略戦争においても米帝を全面的に擁護していくこうとしているのである。そして、この通常国会において成立を强行しようとしている有事三法案もまた、第二次朝鮮戦争の発動を想定したものにはならない。すさまじい排外主義煽動と対決し、イラク侵略戦争を阻止するためのたたかいと第二次朝鮮戦争に反対するたたかいをしっかりと結合させていこう。そして、韓国における女子中学生虐殺事件以降の反米・反米軍基地闘争、朝鮮半島の自主的平和統一に向けた闘争を断固として支持し、日米安保の廃棄とアジアからの米軍の総撤収を実現するため、アジア人民の反帝国際共同闘争を推進していかねばならない。

第三の任務は、これらのたたかいのなかでアジア共同行動日本連絡会議と各地実行委員会の前進をかちとり、反帝國主義に立脚した先進的労働者人民の隊列を圧倒的に強化していくことにある。アジア共同行動日本連絡会議と各地実行委員会は、国際反戦運動を推進し、アジアからの米軍基地の撤去と日米安保の廃棄を要求し、イラク侵略戦争に反対する全国・各地の全人民政治闘争を牽引すべく奮闘してきた。日本連絡会議は、三月一六日に第八回総会を開催する。この総会の成功をかちとり、イラク侵略戦争に反対するたたかいの全過程をとおして、日本連絡会議と各地実行委員会の前進と拡大を実現していかねばならない。

そして、これらのたたかいのなかで反帝國主義に立脚した先進的労働者人民の独自の隊列を強化していかねばならない。激動する世界的な情勢は、反帝國主義に立脚し、社会主義・共産主義の実現に向けて現代の世界を根本的に変革する主体の登場を要請している。そして、日本帝国主義を打倒し、プロレタリア社会主義革命を切りひらく主体の登場を要請している。これに真正面から応えよう。総力をあげてイラク侵略戦争を阻止するため決起し、革命に向かう真紅の隊列を断固として建設していく。



紀元節・日の丸・君が代とたかう京都集会に300人が結集(2月11日・京都)



反戦平和のための日韓連帯集会（2月23日・大阪）

池田さんは、まずどのような意味で「戦争」の時代と言えるのかと問いかげ、アメリカの世界戦略とその特徴を分かりやすく説明しながら、その戦争の性格を市場経済の世界化に対応した世界秩序を力で維持するためのものと指摘した。さらにいわゆる「危機管理」という考え方がある「戦時」と「平時」の区別をなくし、「平時」から市場経済の世界化に歴向かう「脅威」していくものだと述べた。そして、その「危機管理」の発想を共有する有事法制がきわめて危険なものであることを包括的に説明した。そして、軍隊・警察の役

二月二三日、午後二時より、大阪のドーンセンター大ホールで「ブッシュはイラクと朝鮮半島への侵略戦争をやめる／反戦平和のための日韓民衆連帯集会」が同集会実行委員会の主催で開催された。

ト共同代表の中北龍太郎さんと韓統連大阪本部の李鐵（イ・チヨル）さんの二人の主催者あいさつで集会は始まった。二人とも先日一五日の巨大な国際反戦同時行動に言及しつつ、中北さんは「ブッシュの汚い野望を打ち砕き、戦争をとめよう。そして

スンチヨルさんが発言した。シン・モニ米軍基地のない社会で暮らしもたらすためにたたかっていこう」と力強く発言した。

その後、韓国から来場したシン・モニ米軍基地のない社会で暮らしもたらすためにたたかっていこう」と熱くアピールした。

集会ではさらにミニコンサート、全港湾大阪支部、朝鮮総連大阪府本部、米軍人・軍属による事件被害者を支える会、アフガン劣化ウラン弾被害調査団、ハナの会からの各界アピールがあった。そして、集会決議を採択した後、参加者はデモ行進をおこなって、イラクと朝鮮半島での戦争策動への反対を街頭に向かって訴えた。

2・11 京都

戦争の時代の天皇制を撃つ京都集会開催

二月一日午後一時、京都会館において、天皇制の強化を許さない京都実行委員会の主催で、「紀元節『日の丸・君が代』とたかう」・「一・京都集会」が開催された。

「生活のなかから天皇制を排除していく。その地道なたたかいのなかで天皇制を撃っていく」という大野昭則・部落解放同盟京都府連委員長の主催者あいさつで集会は始まった。

その後、「派兵チェック」編集委員

会の池田五律さんが「戦争の時代の有事立法と天皇制－アメリカのイラク侵略戦争と日本の参戦を問う」と題する講演をおこなった。

池田さんは、まずどのような意味

で「戦争」の時代と言えるのかと問

いかけ、アメリカの世界戦略とその特徴を分かりやすく説明しながら、

その戦争の性格を市場経済の世界化

に対応した世界秩序を力で維持する

ためのものと指摘した。さらにいわ

ゆる「危機管理」という考え方があ

る「戦時」と「平時」の区別をなくし、

「平時」から市場経済の世界化に歴

向かう「脅威」していくものだと述べた。そして、その「危機管理」

の発想を共有する有事法制がきわめて危険なものであることを包括的に説明した。そして、軍隊・警察の役

題する講演をおこなった。

池田さんは、まずどのような意味

で「戦争」の時代と言えるのかと問

いかけ、アメリカの世界戦略とその特徴を分かりやすく説明しながら、

その戦争の性格を市場経済の世界化

に対応した世界秩序を力で維持する

ためのものと指摘した。さらにいわ

ゆる「危機管理」という考え方があ

る「戦時」と「平時」の区別をなくし、

「平時」から市場経済の世界化に歴

向かう「脅威」していくものだと述べた。そして、その「危機管理」

の発想を共有する有事法制がきわめて危険なものであることを包括的に説明した。そして、軍隊・警察の役

題する講演をおこなった。

池田さんは、まずどのような意味

で「戦争」の時代と言えるのかと問

いかけ、アメリカの世界戦略とその特徴を分かりやすく説明しながら、

その戦争の性格を市場経済の世界化

に対応した世界秩序を力で維持する

ためのものと指摘した。さらにいわ

ゆる「危機管理」という考え方があ

る「戦時」と「平時」の区別をなくし、

「平時」から市場経済の世界化に歴

向かう「脅威」していくものだと述べた。そして、その「危機管理」

の発想を共有する有事法制がきわめて危険なものであることを包括的に説明した。そして、軍隊・警察の役

題する講演をおこなった。

池田さんは、まずどのような意味

で「戦争」の時代と言えるのかと問

いかけ、アメリカの世界戦略とその特徴を分かりやすく説明しながら、

その戦争の性格を市場経済の世界化

に対応した世界秩序を力で維持する

ためのものと指摘した。さらにいわ

ゆる「危機管理」という考え方があ

る「戦時」と「平時」の区別をなくし、

「平時」から市場経済の世界化に歴

向かう「脅威」していくものだと述べた。そして、その「危機管理」

の発想を共有する有事法制がきわめて危険なものであることを包括的に説明した。そして、軍隊・警察の役

題する講演をおこなった。

池田さんは、まずどのような意味

で「戦争」の時代と言えるのかと問

いかけ、アメリカの世界戦略とその特徴を分かりやすく説明しながら、

その戦争の性格を市場経済の世界化

に対応した世界秩序を力で維持する

ためのものと指摘した。さらにいわ

ゆる「危機管理」という考え方があ

る「戦時」と「平時」の区別をなくし、

「平時」から市場経済の世界化に歴

向かう「脅威」していくものだと述べた。そして、その「危機管理」

の発想を共有する有事法制がきわめて危険なものであることを包括的に説明した。そして、軍隊・警察の役

題する講演をおこなった。

池田さんは、まずどのような意味

で「戦争」の時代と言えるのかと問

いかけ、アメリカの世界戦略とその特徴を分かりやすく説明しながら、

その戦争の性格を市場経済の世界化

に対応した世界秩序を力で維持する

ためのものと指摘した。さらにいわ

ゆる「危機管理」という考え方があ

る「戦時」と「平時」の区別をなくし、

「平時」から市場経済の世界化に歴

向かう「脅威」していくものだと述べた。そして、その「危機管理」

の発想を共有する有事法制がきわめて危険なものであることを包括的に説明した。そして、軍隊・警察の役

題する講演をおこなった。

池田さんは、まずどのような意味

で「戦争」の時代と言えるのかと問

いかけ、アメリカの世界戦略とその特徴を分かりやすく説明しながら、

その戦争の性格を市場経済の世界化

に対応した世界秩序を力で維持する

ためのものと指摘した。さらにいわ

ゆる「危機管理」という考え方があ

る「戦時」と「平時」の区別をなくし、

「平時」から市場経済の世界化に歴

向かう「脅威」していくものだと述べた。そして、その「危機管理」

の発想を共有する有事法制がきわめて危険なものであることを包括的に説明した。そして、軍隊・警察の役

題する講演をおこなった。

池田さんは、まずどのような意味

で「戦争」の時代と言えるのかと問

いかけ、アメリカの世界戦略とその特徴を分かりやすく説明しながら、

その戦争の性格を市場経済の世界化

に対応した世界秩序を力で維持する

ためのものと指摘した。さらにいわ

ゆる「危機管理」という考え方があ

る「戦時」と「平時」の区別をなくし、

「平時」から市場経済の世界化に歴

向かう「脅威」していくものだと述べた。そして、その「危機管理」

の発想を共有する有事法制がきわめて危険なものであることを包括的に説明した。そして、軍隊・警察の役

題する講演をおこなった。

池田さんは、まずどのような意味

で「戦争」の時代と言えるのかと問

いかけ、アメリカの世界戦略とその特徴を分かりやすく説明しながら、

その戦争の性格を市場経済の世界化

に対応した世界秩序を力で維持する

ためのものと指摘した。さらにいわ

ゆる「危機管理」という考え方があ

る「戦時」と「平時」の区別をなくし、

「平時」から市場経済の世界化に歴

向かう「脅威」していくものだと述べた。そして、その「危機管理」

の発想を共有する有事法制がきわめて危険なものであることを包括的に説明した。そして、軍隊・警察の役

題する講演をおこなった。

池田さんは、まずどのような意味

で「戦争」の時代と言えるのかと問

いかけ、アメリカの世界戦略とその特徴を分かりやすく説明しながら、

その戦争の性格を市場経済の世界化

に対応した世界秩序を力で維持する

ためのものと指摘した。さらにいわ

ゆる「危機管理」という考え方があ

る「戦時」と「平時」の区別をなくし、

「平時」から市場経済の世界化に歴

向かう「脅威」していくものだと述べた。そして、その「危機管理」

の発想を共有する有事法制がきわめて危険なものであることを包括的に説明した。そして、軍隊・警察の役

題する講演をおこなった。

池田さんは、まずどのような意味

で「戦争」の時代と言えるのかと問

いかけ、アメリカの世界戦略とその特徴を分かりやすく説明しながら、

その戦争の性格を市場経済の世界化

に対応した世界秩序を力で維持する

ためのものと指摘した。さらにいわ

ゆる「危機管理」という考え方があ

る「戦時」と「平時」の区別をなくし、

「平時」から市場経済の世界化に歴

向かう「脅威」していくものだと述べた。そして、その「危機管理」

の発想を共有する有事法制がきわめて危険なものであることを包括的に説明した。そして、軍隊・警察の役

題する講演をおこなった。

池田さんは、まずどのような意味

で「戦争」の時代と言えるのかと問

いかけ、アメリカの世界戦略とその特徴を分かりやすく説明しながら、

その戦争の性格を市場経済の世界化

に対応した世界秩序を力で維持する

ためのものと指摘した。さらにいわ

ゆる「危機管理」という考え方があ

る「戦時」と「平時」の区別をなくし、

「平時」から市場経済の世界化に歴

向かう「脅威」していくものだと述べた。そして、その「危機管理」

の発想を共有する有事法制がきわめて危険なものであることを包括的に説明した。そして、軍隊・警察の役

題する講演をおこなった。

池田さんは、まずどのような意味

で「戦争」の時代と言えるのかと問

いかけ、アメリカの世界戦略とその特徴を分かりやすく説明しながら、

その戦争の性格を市場経済の世界化

に対応した世界秩序を力で維持する

ためのものと指摘した。さらにいわ



反戦闘争実行委によるアメリカ大使館行動



大阪・扇町公園には1500人が結集（報告次ページ）

実行委員会に参加する諸団体・個人はいま、三月一五日の再度の反戦デモンストレーションの成功に向けて奮闘している。実行委員会では、①世界の反戦運動に連帯し、民衆の力でイラク攻撃をやめさせよう、②小泉政権のイラク攻撃への参戦・協力に反対し、有事三法案を廃案に追い込もう、を共通の意志として確認し、同日にアメリカでインターネット

二月一五日、イラク攻撃反対の国際反戦闘争に連帯し、「反帝国際連帯 反戦闘争実」は午後四時から約五〇人でアメリカ大使館抗議行動を行なった。さらに、夜の六時三〇分からは渋谷・宮下公園で「ピース・アクションin東京」が「戦争反対！有事法案を廃案に市民緊急行動」などの呼びかけておこなわれ、約五〇〇人が参加した。

反戦闘争実のアメリカ大使館抗議行動は、一月一八日の国際反戦共同行動を引き継ぐものである。これに連帯、反戦闘争実行委員会は、午後四時から約五〇人でアメリカ大使館抗議行動を行なった。さらに、夜の六時三〇分からは渋谷・宮下公園で「ピース・アクションin東京」が「戦争反対！有事法案を廃案に市民緊急行動」などの呼びかけておこなわれ、約五〇〇人が参加した。

二月一五日、イラク攻撃反対の国際反戦闘争に連帯し、「反帝国際連帯 反戦闘争実」は午後四時から約五〇人でアメリカ大使館抗議行動を行なった。さらに、夜の六時三〇分からは渋谷・宮下公園で「ピース・アクションin東京」が「戦争反対！有事法案を廃案に市民緊急行動」などの呼びかけておこなわれ、約五〇〇人が参加した。

二月一五日、イラク攻撃反対の国際反戦闘争に連帯し、「反帝国際連帯 反戦闘争実」は午後四時から約五〇人でアメリカ大使館抗議行動を行なった。さらに、夜の六時三〇分からは渋谷・宮下公園で「ピース・アクションin東京」が「戦争反対！有事法案を廃案に市民緊急行動」などの呼びかけておこなわれ、約五〇〇人が参加した。

東京 世界一齊行動に決起

京都 共同でリレートーク

ヨーロッパ発で呼びかけられた二月一五日の反戦一齊行動は、ロンドンでの二〇〇万人集会をはじめとして全世界で一〇〇〇〇万人が参加する空前の反戦行動となつた。アジアでもフィリピン、韓国、台湾をはじめとして大規模な街頭行動が各地で取り組まれた。あくまで戦争に突き進もうとするブッシュ政権が、そして戦争支持を明確にする小泉政権が、国際的な労働者人民の要求のまったく対極にあることがすぐれて浮き彫りとなつた。日本でもこの国際反戦運動の躍動と結合して全国各地でさまざまな取り組みがおこなわれた。アジア共同行動日本連や反戦闘争実行委の仲間も各地での闘争を担いぬいた。

殺するイスラエルの支援をやめること、フィリピンなどへの「対テロ戦争」の拡大をやめること、⑤米軍による韓国女子中学生撲殺事件の謝罪・真相究明・補償を行なうこと、韓米行政協定を廃棄し、駐韓米軍の強化をやめ撤去すること、⑥朝鮮民主主義人民共和国への敵視政策・戦争策動をやめること、⑦沖縄から基地を撤去すること、日米安保条約を廃棄すること、などである。大使館へこれら的要求をたたきつけ、米大使館抗議行動を終えた。

京都では、一月一八日の国際反戦共同行動を六〇〇人の参加で成功させた「イラク攻撃をとめよう。歩こう、世界の人々とともに」京都実行委員会が、その後の総括会議を経てイラク戦争の問題に対応する実行委員会として活動を継続していくことを決めた。そして、二月一五日の国際同時行動デーに際しては、京都の繁華街である四条河原町の交差点で街頭リレートークをおこなうことが決められた。

2・15世界一齊行動を各地で取り組む

渋谷・宮下公園での「ピース・アクション」は、米英のイラク戦争をやめさせようと口コミやネットでの呼びかけが広範にすすみ、主催の予想をはるかに上回る反戦決起がつくりだされた。英語などのプラカードをつくって参加した外国人の参加も数多くみられた。渋谷一周のデモでは、権力も規制ができないほどデモがひろがり、道行く人びとが手を振ったり参加し、「イラク攻撃反対」「石油のために血を流すな」「パレスチナに自由を」の世界的な反戦行動と一体となつた解放感をみなぎらせ取り組みとなつた。反戦闘争実は、終始、日米帝打倒とプロレタリア国際主義の要求をかかげてたたかいねいた。

資料

日米のアジア支配に反対しアジア人民の連帯を推進する(AWC) 日本連絡会議 第八回総会のよびかけ

アメリカ・ブッシュ政権のイラク攻撃を阻止する反戦運動が世界中で燃え上がっています。米国の反戦団体・ANSWER（「戦争と人種差別主義を即刻やめさせる運動連合」）がよびかけた「一月一八日の国際反戦行動は世界中で取り組まれる大闘争となりました。つづく一月一五日にはニューヨーク五〇万、ロンドン一五〇万など、世界六〇カ国で約一〇〇〇万人が『イラク攻撃反対』『石油のために血を流すな』『パレスチナに自由を』の反戦デモをたたかいました。次の三月一五日も国際反戦行動が呼びかけられています。私たちは、この米国や世界の反戦運動と連帯し、広範なたかいの一翼を東京・京都・大阪・福岡などで担ってきました。ベトナム反戦闘争を上回る大規模な反戦運動の真っ只中で、私たちはさらにたたかいをすすめ、三月一六日に第八回総会を開催します。

米英のイラク攻撃は石油企業や軍事産業など握りの独占資本の儲けのために、多くのイラク民衆の命と生活を奪おうとし、核兵器さえ使用しようとする、とんでもない侵略戦争です。反戦運動の大高揚をうけ、国連ではドイツ・フランス・ロシアなど多くの国々が査察の強化と継続を主張し、米英に反対しています。

ところが、イージス艦のインド洋派兵を強行した小泉政権は米英のイラク攻撃を支持すると明言しました。また米軍の戦費負担に応じることや、イラク占領政策を支える「復興新法」を策動するなど、新ガイドライン以降の戦争のできる日米同盟をひた走っています。日本の実質的な参戦化や、憲法で禁じられてきた集団的自衛権の行使は絶対に許してはなりません。小泉のねらいは、「拉致問題」や「核開発問題」による朝鮮民主主義人民共和国への敵視キヤンペーンをつよめ、在日朝鮮人への差別除外主義を激化させ、日米同盟による第二次朝鮮戦争の態勢をすすめ、今国会で有事法制二法案（戦争国家総動員法）を制定することにあります。同時に沖縄では名護新基地や浦添新軍港などの計画がすすめられ、米軍基地が強化されています。

他方、グローバリゼーションのもとで、戦争に突き進む米国が貿易と財政の巨額な赤字を累積し、日本は長期デフレと六〇〇兆円をこえる膨大な財政赤字を抱え、ドイツも低迷し、ヘッジファンドなど投機的金融資本が横行するなど、世界経済の危機は深まるばかりです。日本政府と独占資本は資本の再編淘汰を加速し、生産拠点のアジア移転＝国内空洞化を進め、労働者民衆に犠牲をつよめています。小泉政権は医療費負担増など福祉を切り捨て、大増税を強行しようとし、解雇の自由化や非正規労働者の拡大化など労働基準法の改悪を策動し、新自由主義の弱肉強食政策を実施しています。その結果、倒産・失業・生活破壊・権利剥奪が私たち労働者民衆を直撃しています。ひるんではなりません。労働者の決起と団結をすすめ、生活破壊と戦争の道を押し返していきましょう。

私たちアジア共同行動日本連絡会議は、フィリピンのバヤン、韓国のAWC委員会・民主労総などや、台湾労働人権協会、インドネシアJKB、ネパール労働総同盟などと一九九二年から「日米のアジア侵略支配に反対するアジアキャンペーン」(AWC)を展開してきました。AWCは、アフガン戦争に続くフィリピンの『対テロ』戦争に反対する現地闘争に取り組み、韓国民衆の反米軍闘争や生存権確保の労働者大闘争に連帯し、米国の反戦団体IAC/ANSWERと連帶して「戦争と生活破壊・人権侵害に反対する国際共同行動」を推進してきました。これらの運動の積み重ねが国際反戦運動の大高揚へと結実していくと実感しています。

きたる第八回総会において、アジアの連帯した闘いをすすめ、アメリカそして世界中の反戦運動や、反グローバリゼーション闘争と共に闘をつよめ、イラク攻撃や朝鮮民主主義人民共和国への戦争を阻止するために、そして有事法制と沖縄新基地建設をゆるさないために、〇三年度の運動方針を討議し決定します。ぜひとも、みなさんのご参加とご支援をうけ、第八回総会の成功をかち取り、労働者民衆のたたかいの国際的な発展をともにすすめたいと決意しています。あらためて、よろしく、ご参加、ご協力のほどをお願いいたします。

- 第八回総会 日時 三月一六日(日) 午後一時三〇分～ ■活動報告と〇三年方針の討議ほか
- 場所 東京浜松町海員会館 (JR山手線 浜松町駅北口下車五分 旧芝離宮公園隣り)
- アジア共同行動(AWC)日本連絡会議 共同代表 斎藤一雄 小城修一 中岡基明 顧問 前野良
- 東京都港区新橋五・一七・七小林ビル 全国一般労働組合全国協議会 気付 ○三・三・四三・一・二三六
- 京都府久世郡久御山町佐山三七 自立労働組合連合 気付 ○七七四・四三・八七二
- 参加・賛同費 一口 千円 (団体は三口以上) 検討おねがいします)
- 郵便振替 〇〇一八〇・〇・七二二九四四 アジアキャンペーン委員会